

# 2019年3月期 第1四半期 決算概要

2018年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証第一部)

# 2019年3月期 第1四半期 決算ハイライト

日本では、引き続き、電子部品・半導体関連と食品・飲料関連が好調。  
海外は現地通貨ベースでも好調を維持。

売上	連結	連結売上高は、前年同期比106.3%、6億円増の103億円。
	日本	前年同期比100.9%の42億円。 電子部品・半導体関連、食品・飲料関連の受注も好調を維持。
	中国	前年同期比107.8%の49億円。 継続して取組んでいる高付加価値の戦略製品が大きく伸長。
	その他	前年同期比124.2%の10億円。 欧州、米州、ベトナムが好調に推移。
利益		営業利益は、前年同期比102.0%の7.1億円。先行投資としての設備投資や研究開発投資の減価償却費等による販管費の増加はあったものの、売上が増加したことによる利益増に加えて、工場の稼働アップによる原価率の良化もあり、増益。経常利益は、海外子会社における為替影響もあり、前年同期比96.0%の6.8億円。 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比120.9%の5.1億円。
ネット資金		配当金支払い等により、期首から6.4億円減少。

# 損益計算書サマリー

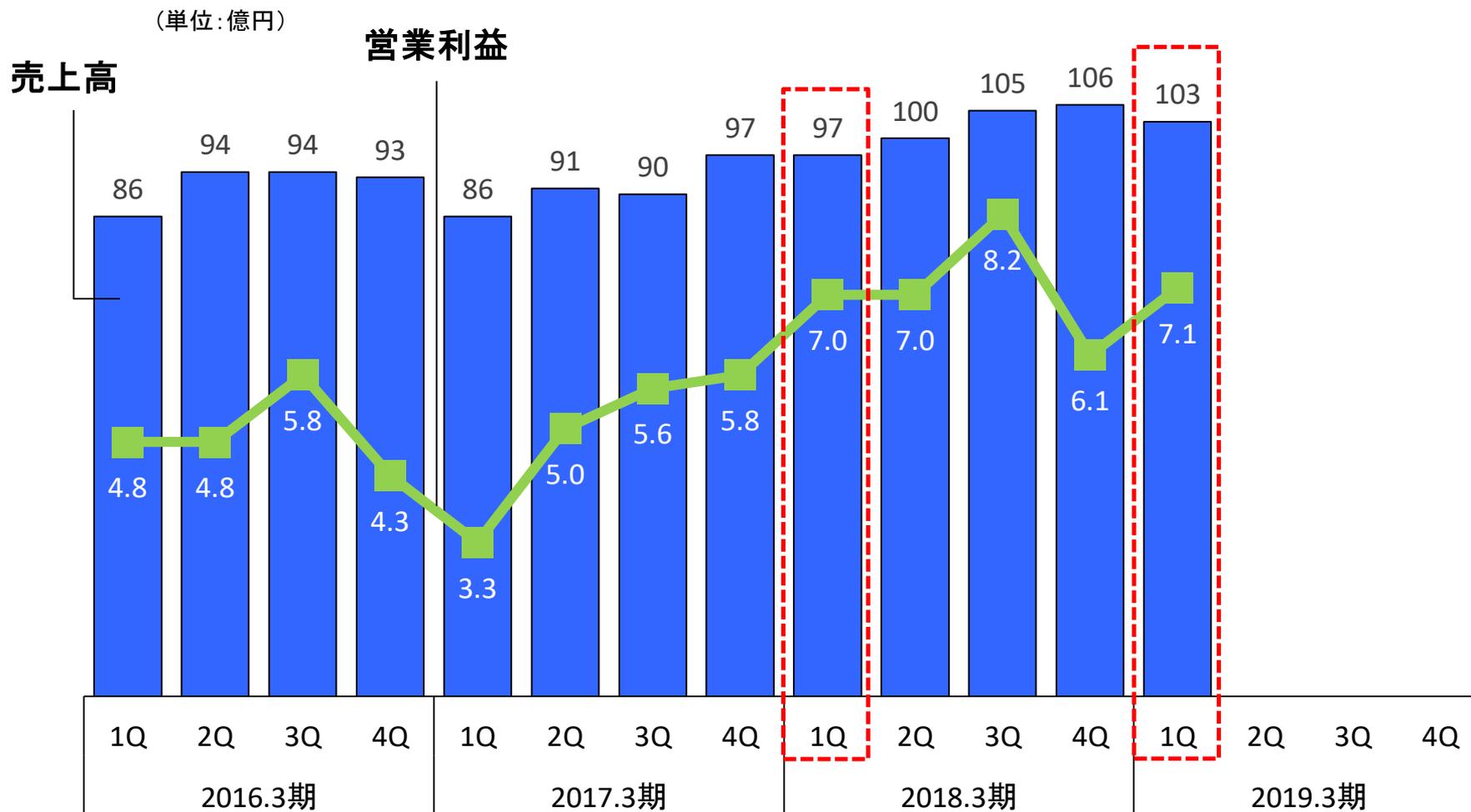
(単位:百万円)

	2018年3月期 第1四半期		2019年3月期 第1四半期		前年同期差	前年同期比
売上高		9,733		10,342	608	106.3%
営業利益	7.2%	701	6.9%	714	13	102.0%
経常利益	7.3%	711	6.6%	682	▲28	96.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	4.3%	422	4.9%	511	88	120.9%



# 売上高と営業利益の推移

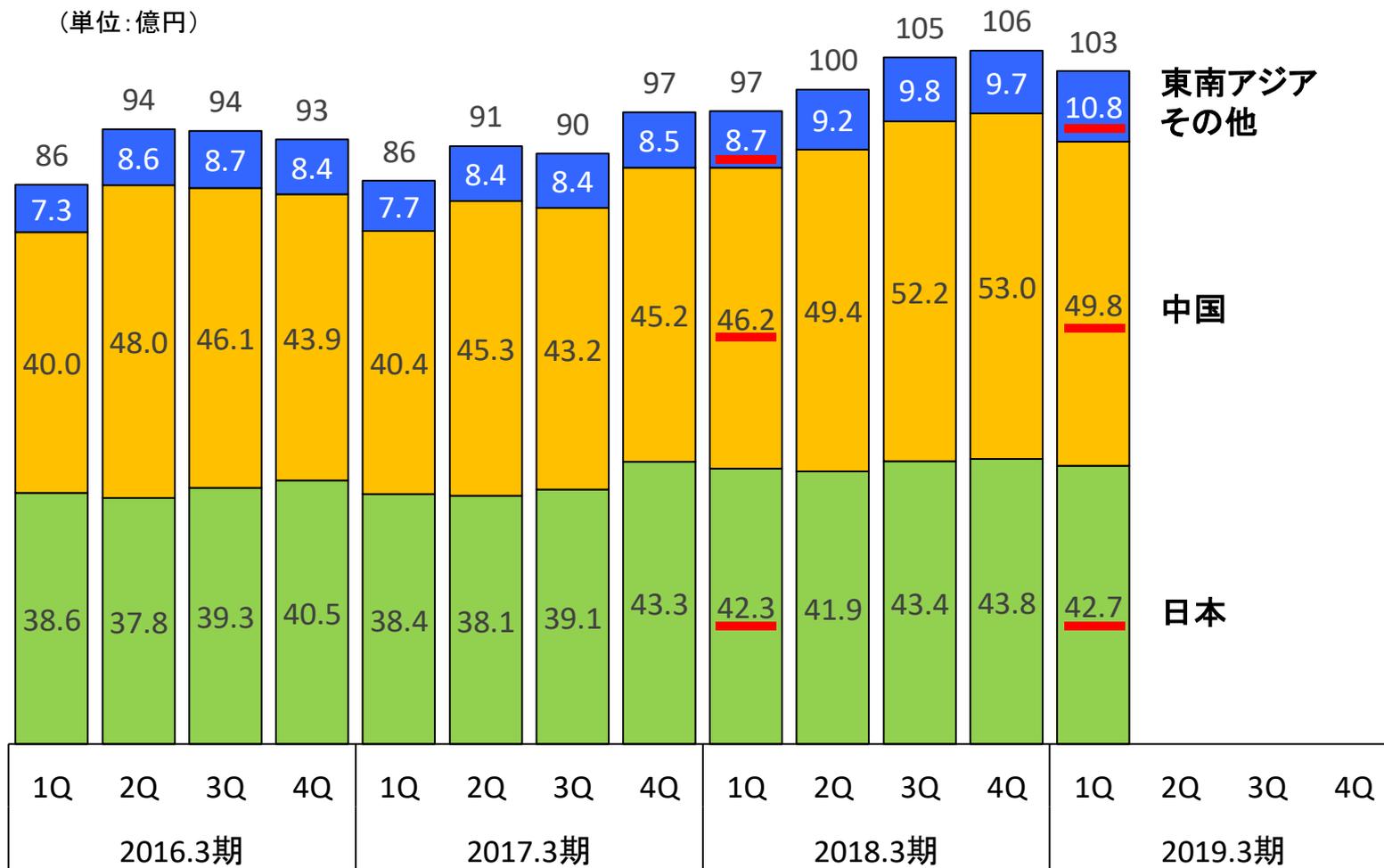
春節の影響がある第1四半期としては、売上高、営業利益ともに上場来最高を更新。



# 地域別売上高

四半期ベースで、全地域が増収を達成。

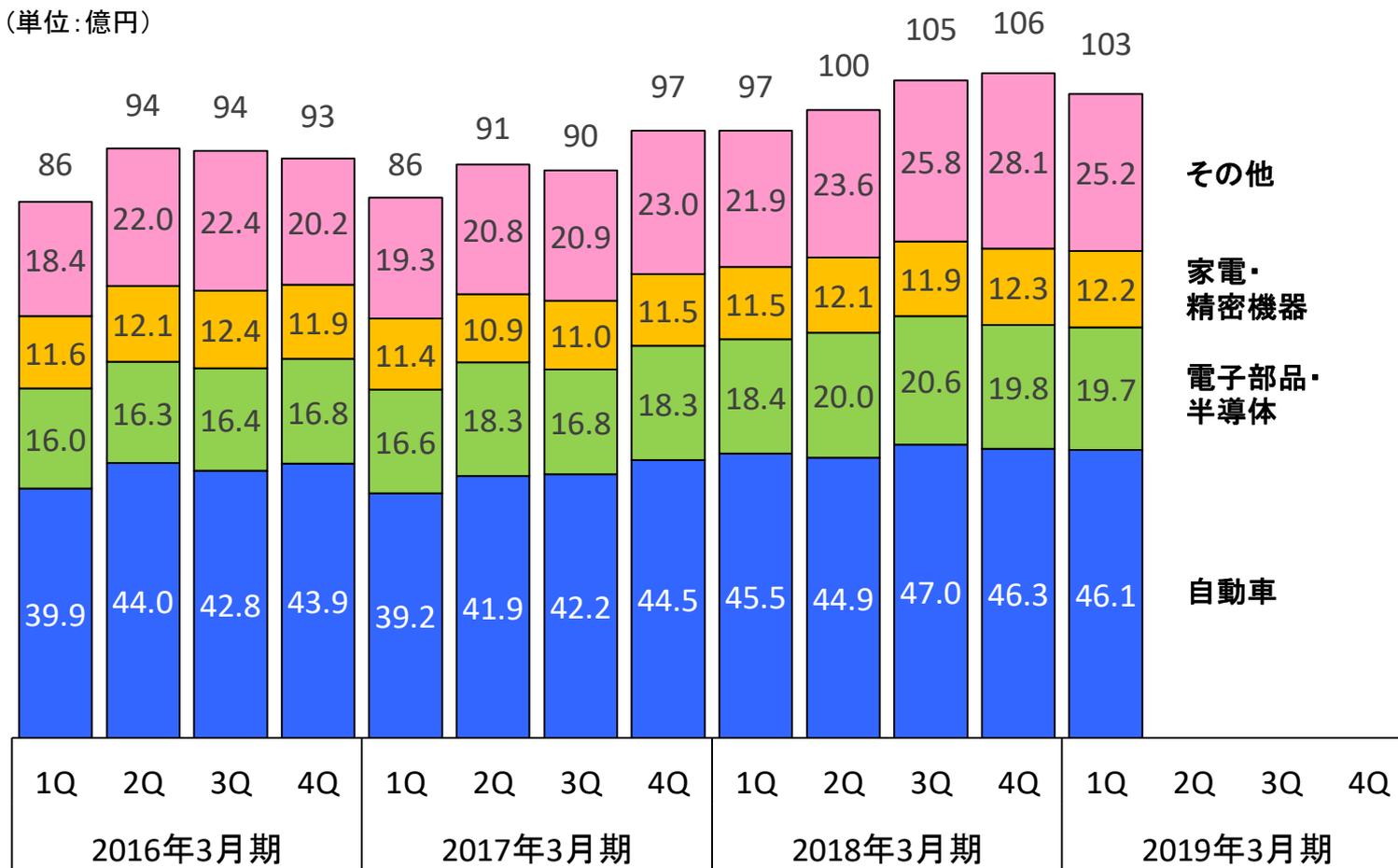
(単位:億円)



# 業種別売上高

高付加価値分野の食品・飲料関連の受注が拡大する等、「その他」の伸長が貢献。

(単位:億円)

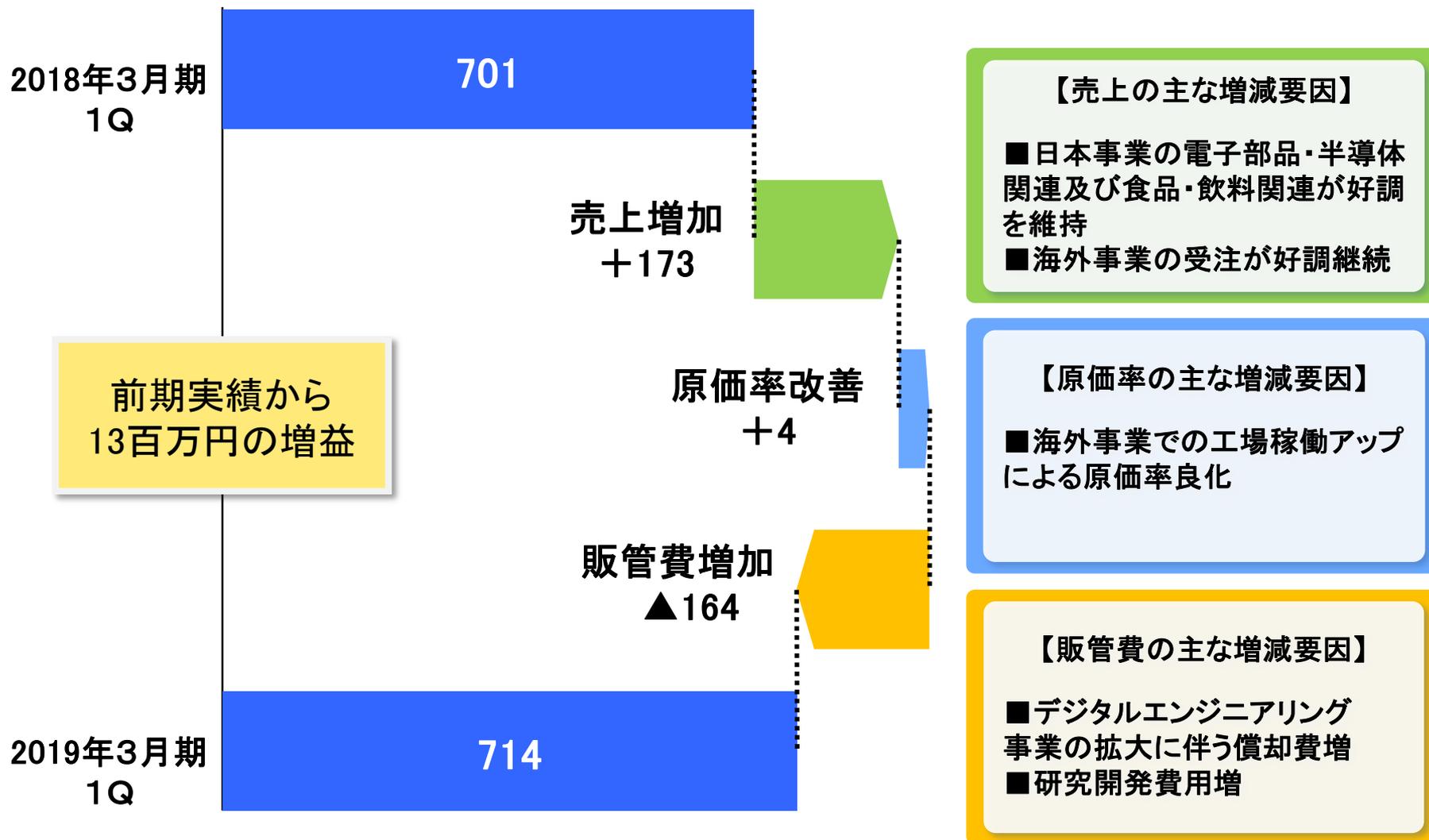


注) 中国における業種区分修正に伴い、2017年3月期のデータを修正



# 営業利益増減

(単位:百万円)



# 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2018年3月期末	2019年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	32,560	32,577	16
総負債	16,385	16,398	12
うち有利子負債	6,332	6,946	613
純資産	16,174	16,178	3
ネット資金	▲2,561	▲3,210	▲649
自己資本比率	49.6%	49.6%	0.0pt

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	405	773	368
減価償却費(無形固定資産含む)	367	397	30



# 2019年3月期 業績及び配当の予想

(単位:百万円)

	2018年3月期 (実績)		2019年3月期 (予想)		前期差	前期比
売上高		41,025		42,000	974	102.4%
営業利益	6.9%	2,843	7.0%	2,920	76	102.7%
経常利益	6.7%	2,731	6.7%	2,800	68	102.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4.4%	1,788	4.9%	2,070	281	115.7%
自己資本利益率 (ROE)		11.8%		12.5%	0.7pt	

2019年3月期  
配当予想

20円50銭 = 中間 10円25銭 + 期末 10円25銭



# 参考資料



# 会社概要

会社名	パンチ工業株式会社
本社所在地	東京都品川区南大井6丁目22番7号
設立	1975年3月
資本金	28億9,773万円
従業員数	4,298名(グループ連結、2018年3月末現在)
生産拠点	北上工場(岩手県北上市) 宮古工場(岩手県宮古市) 兵庫工場(兵庫県加西市)
グループ会社	株式会社ピンテック(山形市) 盤起工業(大連)有限公司(中国) 盤起工業(瓦房店)有限公司(中国) 盤起工業(無錫)有限公司(中国) 盤起工業(東莞)有限公司(中国) 盤起工業(大連)有限公司(中国) PUNCH INDUSTRY INDIA PVT. LTD.(インド) PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.(マレーシア・ペナン) PUNCH INDUSTRY SINGAPORE PTE. LTD.(シンガポール) PUNCH INDUSTRY VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PUNCH INDUSTRY MANUFACTURING VIETNAM CO. LTD.(ベトナム) PT. PUNCH INDUSTRY INDONESIA(インドネシア) PUNCH INDUSTRY USA INC.(米国)



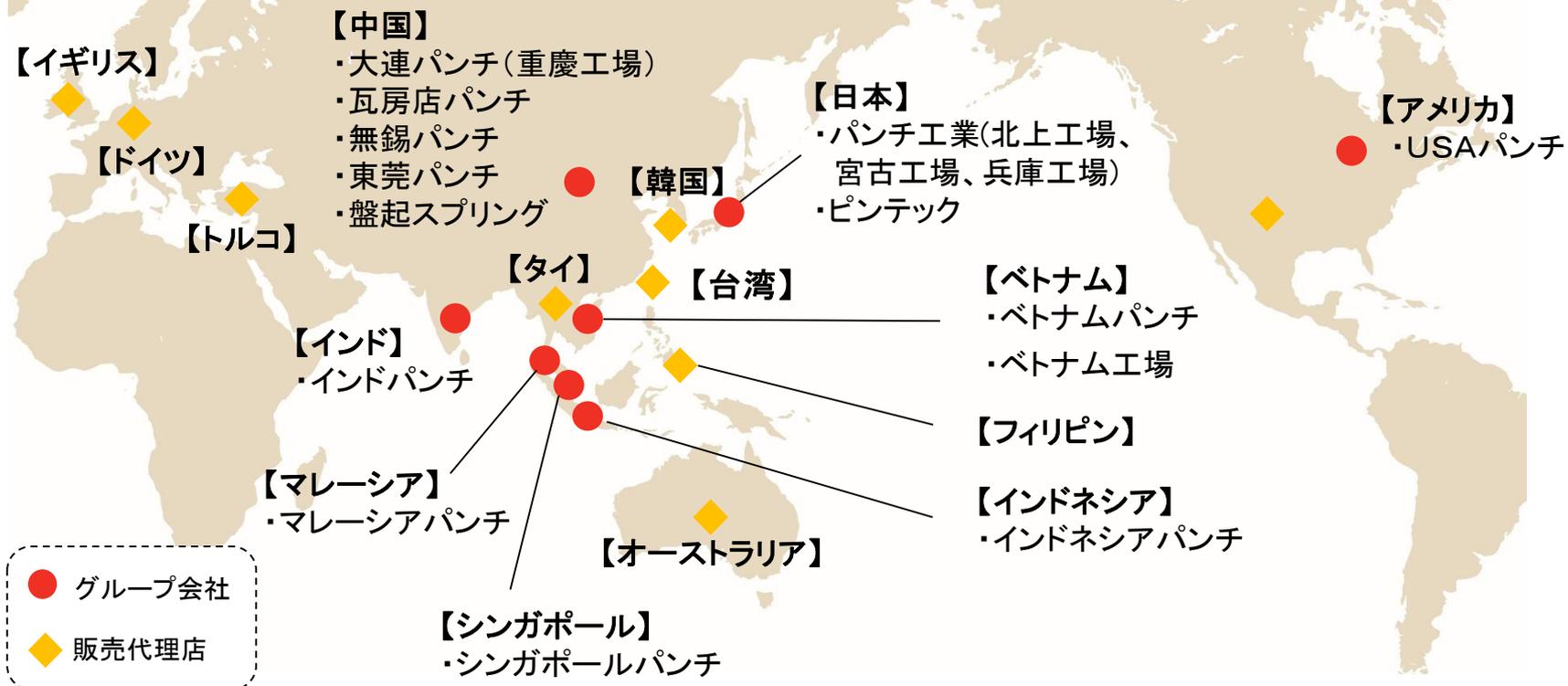
# パンチグループのネットワーク

## 生産拠点数

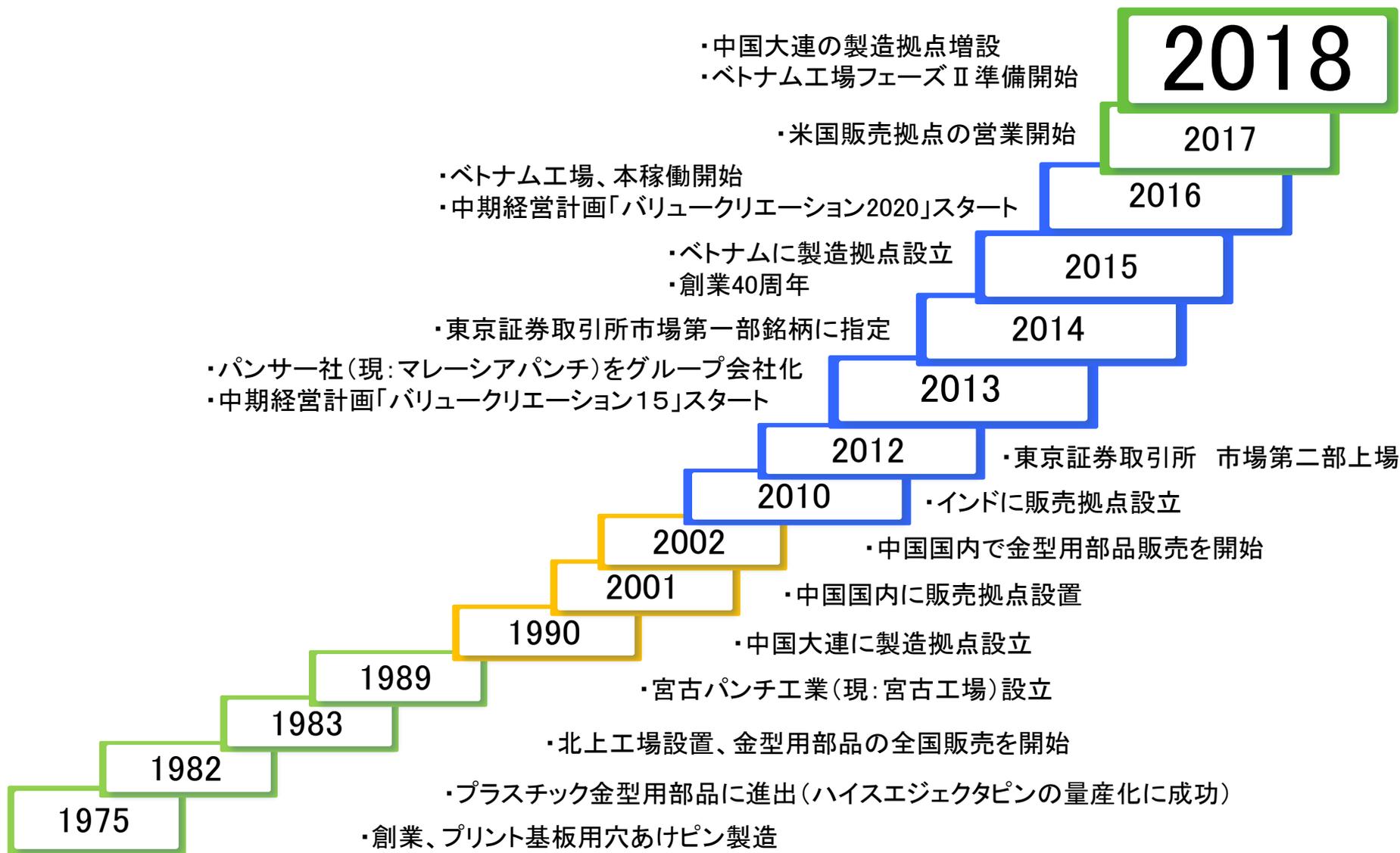
日本	海外
4	8
カ所	カ所

## 販売拠点数

日本	海外
12	40
カ所	カ所

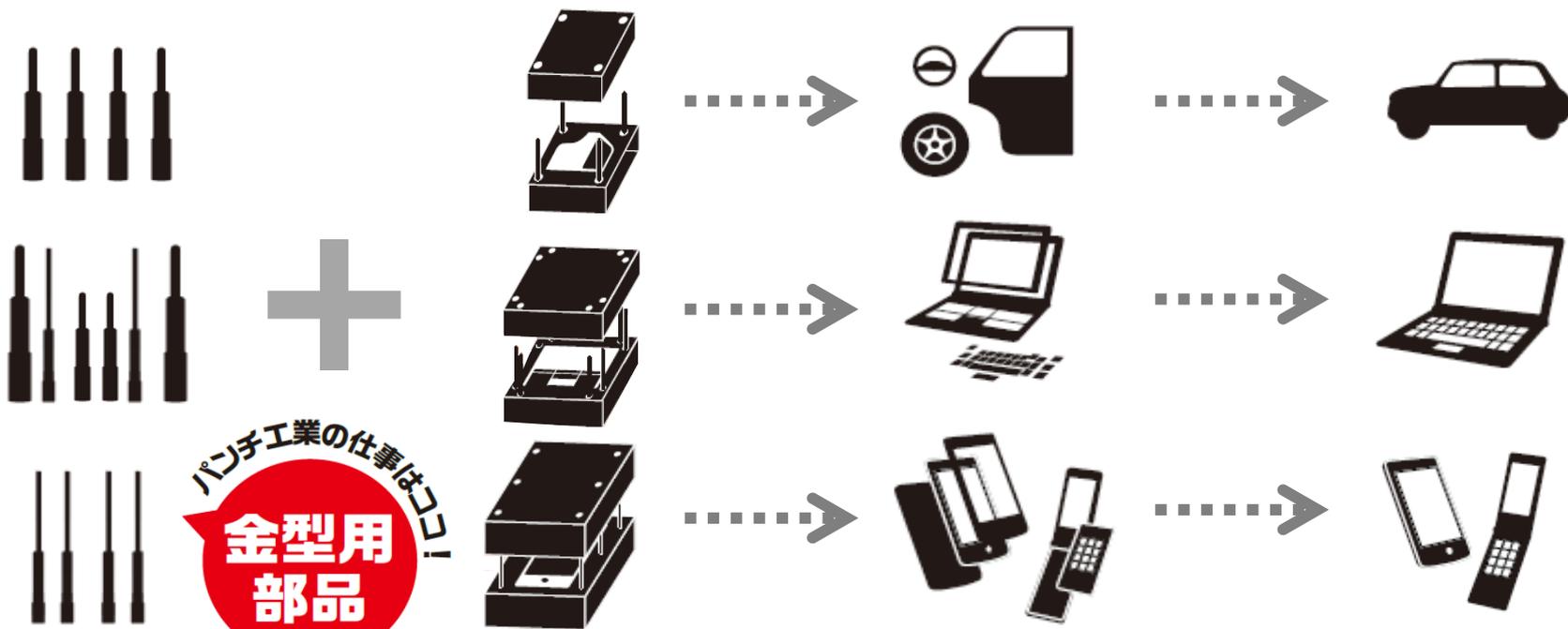


# 沿革



# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密部品の製造・販売



たとえばこんな部品



## 金型

構成部品を速く、均一に、大量につくるための金属でできた「型」

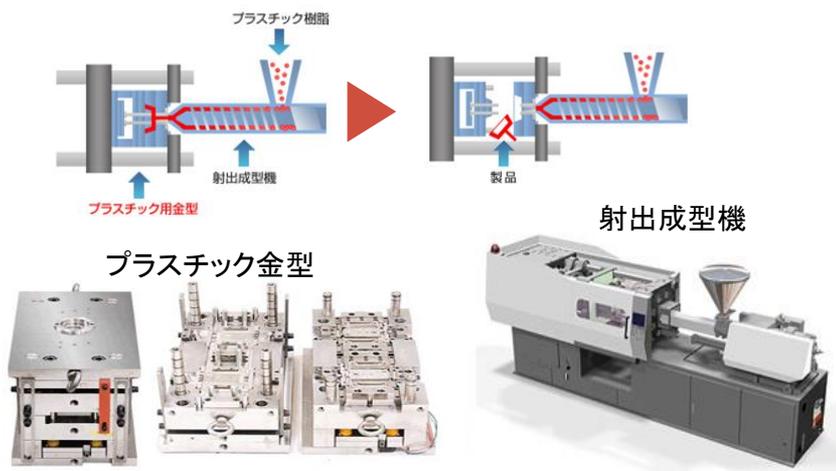
## 構成部品

製品を構成するために必要となるパーツ

## 製品

自動車や家電など私たちが身近で使うさまざまな製品

# プラスチック金型と金型用部品



エジェクタピン



スプルーブシュ・ロケートリング

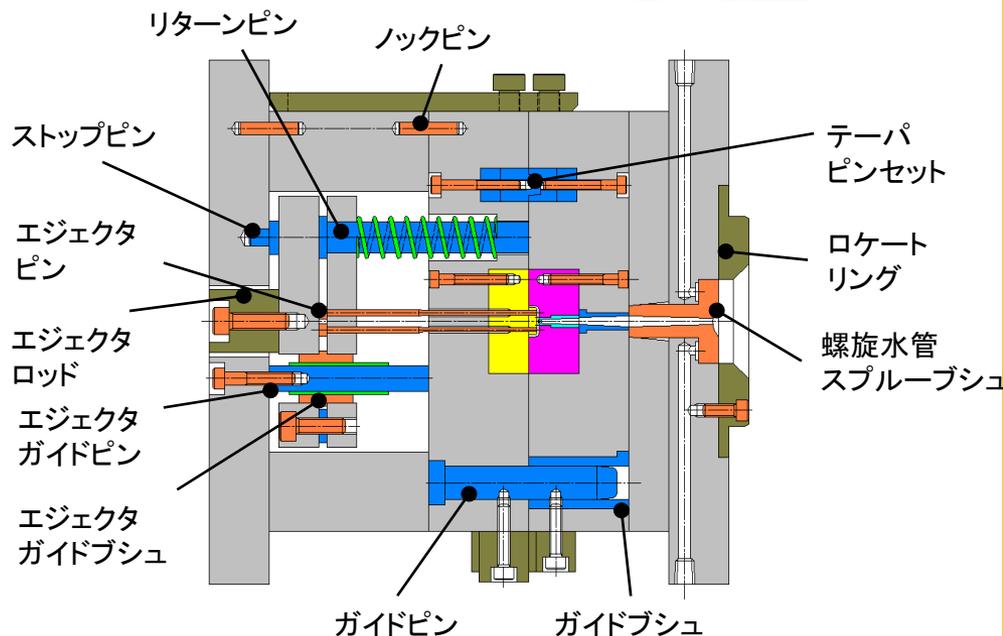
## ●プラスチック金型用部品について

プラスチック金型とは、携帯電話やデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられる金型であり、加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成型機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られております。

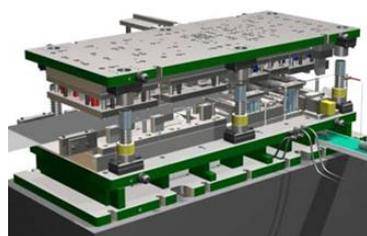
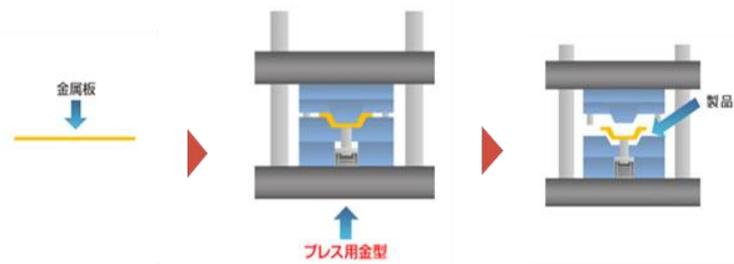
当社グループでは、広範なプラスチック製品の射出成型用金型に組み込まれるエジェクタピン、スプルーブシュ等のプラスチック金型用部品の製造・販売を行っております。

**エジェクタピン**・・・ 成型品を金型から離し、突き出すための部品

**スプルーブシュ**・・・ 射出成型機の射出ノズルから溶融したプラスチックを金型へ流し込むための部品



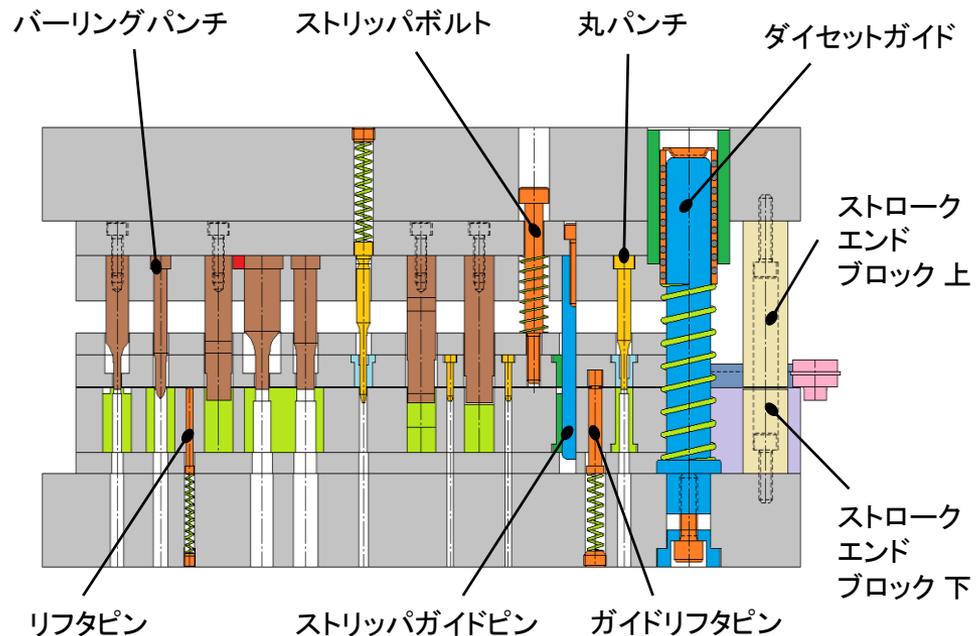
# プレス金型と金型用部品



プレス金型

パンチ

ダイセットガイド



## ●プレス金型用部品について

プレス金型は、プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料(金属の鋼板)を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品が出来上がります。

当社グループでは、自動車、家電、精密機器などを大量生産するために必要な、プレス加工で使用される金属の鋼板を打ち抜く際に使用するパンチ・ダイ部品、金型の上下の動きを保持するガイド部品等のプレス金型用部品の製造・販売を行っております。

**パンチ**…………… パンチは材料に推しつけて使われる工具で、通常はダイと対で使われ、材料に穴をあけたり、形状を転写する部品

**ダイセットガイド**… 上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品

# パンチグループの強み

## お客様に高い満足度を提供



### カタログ品

汎用性の高い標準製品を  
豊富にラインナップ

スピーディーな  
ソリューション

### 特注品

カスタムニーズにも  
柔軟に対応



### 一気通貫の生産体制

2,000台の設備で幅広い対応力

### お客様密着型の営業体制

きめ細かな対応・提案力

### 高い技術力

創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



# CSR経営と企業ビジョン

## CSR経営

世界のものづくりを支える企業であり続けるために  
CSR経営を実行しています。

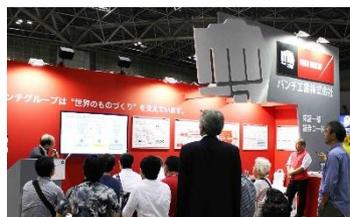
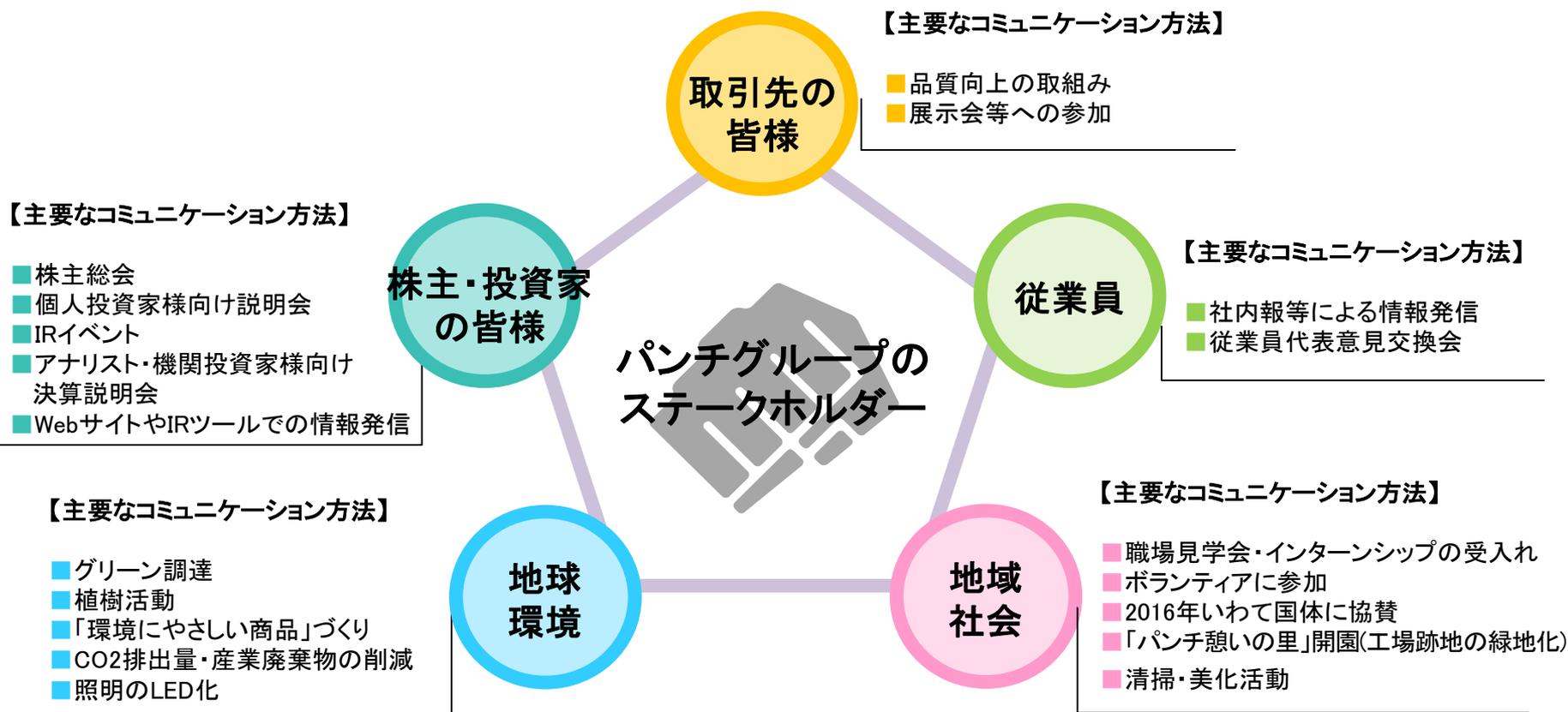
## 企業ビジョン



## 世界のパンチへ

金型部品業界での  
トップブランドを確立し  
製販一体企業としての  
優位性を活かした  
高収益企業を目指す

# ステークホルダーとのコミュニケーション



IRイベント出展



「パンチ憩いの里」開園  
(工場跡地の緑地化)



職場見学会



ボランティア活動  
(2016年いわて国体)



パンチ工業は“世界のものづくり”を支えています

PUNCH INDUSTRY IS THE VITAL CORE BEHIND PRODUCTION AND CRAFTSMANSHIP WORLDWIDE.

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

#### 【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。